

1学年ディベート学習（高女SGH）

1学年では、9月の第一週の現代社会・思惟の時間・LHRを利用し、ディベート学習を実施した。夏季休業前に、グループ分け・論題の提示と割振り・係分担を済ませ、休業中に調べ学習を行い、9月初めから各HRでディベートを展開した。

基本的な流れは、肯定派立論、それに関する質疑と応答、続いて否定派立論、質疑と応答、最後に各派の反駁を行った。今回のディベートでは、勝敗は決しないが各生徒には、「主張・根拠の妥当性」「質疑応答の的確さ」「話し方や態度」について5段階の評価をしてもらった。ディベートの趣旨を十分理解し、有意義な学習となつたようである。

○今回の論題は、以下の5つ。

「群馬の高校を、全て男女共学にすることに、賛成か反対か」

「女性天皇制を、再び導入することに、賛成か反対か」

「全ての自動車を、自動運転自動車に切り替えることに、賛成か反対か」

「救急車の利用の際、1回500円にすることに、賛成か反対か」

「積極的安楽死を、法的に認めることに、賛成か反対か」



←立論



↑作戦タイム



←ディベート学習の配置

二人は、司会者とタイムキーパー